

視聴覚教育時報

No.738 2023 年 6 月号

contents

- ▽令和5年度 第1回文書理事会について
- ▽令和5年度の役員について
- ▽令和5年度 講師派遣事業について
- ▽令和4年度 講師派遣事業の実施結果について
- ▽令和4年度 全視連の調査研究2件の報告書をHPで公開
- ▽令和5年度 視聴覚・放送教育の全国大会 1次案内について
- ▽全視連「賛助会員」(ライブラリー会員)について
- ▽えすけーぷ

▽令和5年度 第1回文書理事会について

既報のとおり、例年4月に開催の第1回常任理事会は、文書により実施しました。4月19日を期日として、下記議案についてすべて役員の方々にご承認いただきました。常任理事会の承認を受けて、令和5年度の第1回理事会についても例年通り文書理事会をもって総会に代えることとし、各加盟団体理事宛に文書を4月26日付けで発送し、5月22日を期限として

下記第1号議案～4号議案について、すべて承認をいただきました。

【文書理事会により決定された事項】

- ・第1号議案 令和4年度事業報告書(案)
- ・第2号議案 令和4年度収支決算書(案)
- ・第3号議案 令和5年度事業計画書(案)
- ・第4号議案 令和5年度収支予算書(案)

▽令和5年度の役員について

全視連の役員の任期は令和4年度、5年度と2年間となっており、今年度の役員は前任者の異動にともない2名の方々に新たに就任いただくこととなりました。令和5年度の役員は以下の通り。なおアンダーラインは新規に就任された方々です。

会長

- ・馬場祐次郎(東京農業大学非常勤講師/元文

部科学省生涯学習政策局社会教育官)

副会長

- ・鈴木 等(茨城県視聴覚教育振興会顧問)
- ・若月隆雄(新潟県立生涯学習推進センター次長)

常任理事

- ・大門和則(栃木県視聴覚教育連盟委員長)
- ・山口 明(群馬県視聴覚ライブラリー連絡協議会会長)

- ・富士池長雄（埼玉県視聴覚教育連絡協議会会長）
- ・小安和美（千葉県視聴覚ライブラリー連絡協議会理事長）

- ・岡部守男（日本視聴覚教育協会常務理事）
- 監事**
- ・永瀬 淳（北村山視聴覚教育センター所長）
 - ・田村修一（仙台市教育委員会生涯学習課長）

▽令和５年度 講師派遣事業について

本事業は、各加盟団体が実施する研究会・研修会に対して、“全視連指導協力者会議”の学識経験者の中から、または加盟団体が独自に選定する講師を要請に応じて講師の派遣を行い、全視連が講師謝金を負担する事業です。

各加盟団体等が主催する研究会や生涯学習メディア利用研修会等への講師派遣申請を 10 月 27 日まで受け付けています。

※なお、コロナウイルスの感染状況によっては、テレビ会議での講演となることがあります。

- ＜講師＞（敬称略）
- ・市川 昌（江戸川大学名誉教授）
 - ・伊藤敏朗（映画監督、東京情報大学非常勤講師）
 - ・坂井知志（日本デジタルアーキビスト資格認定機構理事／岐阜女子大学特別客員教授）
 - ・篠原文陽児（東京学芸大学名誉教授）
 - ・立見康彦（群馬大学教育学部大学院教育学科研究科客員教授）
 - ・平沢 茂（文教大学名誉教授）
 - ・吉田広毅（関東学院大学副学長・国際文化学部教授）
 - ・村上長彦（全国視聴覚教育連盟専門委員長）
 - ・丸山裕輔（新潟県五泉市立愛宕小学校教諭／全国視聴覚教育連盟副専門委員長）

▽令和４年度 講師派遣事業の実施結果について

昨年度の講師派遣事業については下記の３加盟団体から申請があり、次のような内容により実施しました。

▽岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会

主催：岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会
日時：令和４年６月 23 日（木）13:00～15:40

会場：岩手県立図書館（ミニシアター、研修室）
参加者：８名（岩手県内各地域視聴覚教育協議会・ライブラリーの専任職員、事務局）

講師：坂井知志氏（日本デジタルアーキビスト資格認定機構理事／岐阜女子大学 特別客員教授）

テーマ：「デジタルアーカイブの諸課題と、これからの視聴覚教育」

▽令和４年度群馬県教育メディア指導者養成講座主催：群馬県視聴覚ライブラリー連絡協議会

日時：令和４年７月 27 日（水）13:30～16:00

会場：群馬県生涯学習センター

参加者：11 名

講師：立見康彦氏（群馬大学教育学部大学院教育学科研究科客員教授）

テーマ：「①講義：視聴覚教育メディア総論」／「②情報モラル・著作権・セキュリティ」／「③講義・実習：16 ミリ映写機操作技術認定講座」

▽令和４年度メディア研修特別講演会

主催：新潟県立生涯学習推進センター

日時：令和4年 11 月 16 日（水）14:00～
16:00
会場：新潟県立生涯学習推進センター
参加者：53 名

講師：井上経久氏（新潟・市民映画館シネ・ウ
インド支配人）
テーマ：「映画を通して世界の形を学ぶ～意外
なものが見えてくる～」

昨年度の研修会の様子



岩手県



新潟県



群馬県



▽令和4年度 全視連の調査研究2件の報告書をHPで公開

令和4年度の調査研究事業については、オンラインに関する研究を、前年度からの継続研究として下記2件を実施し、それぞれ担当専門委員を割り当て、年度末に報告書としてとりまとめ、HPにて公開いたしました。

【1】「オンライン学習への対応策構築に向けた調査研究」（継続）

1. ねらい

令和4年度は教材のオンライン視聴実施に向けた取り組み策を具体的に提案。令和3年度の視聴覚センター・ライブラリー一覧を見ると、自作録画教材を保有している視聴覚センター・ライブラリーは494施設中227施設と半数近くあるものの、貸し出しがあるのは54施設と、保有している施設の4分の1程度と少ない。教材が古いということも考えられるが、オンライン提供に向けて権利処理等の面で市販教材と比べて映像データに変換しやすい自作録画教材を持つ視聴覚センター・ライブラリーの状況を調べるとともに、自作録画教材のデジタル化とオンライン提供の具体的な取り組み方法案を提示します。

2. テーマ

「オンライン学習への対応策構築」に向けた調査研究

3. 報告書の概要

- ・ホームページの開設と積極的な情報提供の実施が必要
- ・教材のオンライン視聴の実現に向けて
- ・オンライン講座の実現に向けて

4. 自作教材によるオンライン提供の可能性を考える

- 1) 視聴覚センター・ライブラリーの教材をデジタル化する
- 2) 市販映像教材のデジタル化を考える
 - (1) 市販映像教材デジタル化の必要性
 - (2) 国立国会図書館の取り組みから学ぶ
 - (3) 地域映像を保管、活用する必要性
 - (4) 自作教材のデジタル化の課題

5. 自作教材を持つライブラリーの全体概要

- 1) 自作教材保有の状況
- 2) 自作教材の貸し出し状況
- 3) 自作教材の配信状況

6. 専門委員が所属する県における自作教材の状況分析

7. 自作教材のデジタル・オンライン配信の状況

8. 自作教材のデジタル・オンライン配信の事例を踏まえた配信を広めるための試案

【2】「オンラインによる視聴覚センター・ライブラリーのネットワーク構築に向けた調査研究」（継続）

1. ねらい

令和2年度3年度と視聴覚教育・放送教育合同全国大会がオンラインで行われたように、視聴覚センター・ライブラリーの情報交換や研修もオンラインでの開催が必要となっています。そのため、どのようにすればオンラインでの研修が開催可能となるかを検討した令和3年度の研究を継続し、実際に全国大会の前日（令和4年11月11日（金））にオンラインでの情報交換会と、令和5年2月28日（火）に「視聴覚センター・ライブラリー担当者研修会」（講師：富山大学大学院教職実践開発研究科・長谷川春生准教授）を実施し、参加不参加に関する各視聴覚センター・ライブラリーの考え方や実施状況、参加した結果への反応などを調査分析します。

2. テーマ

「オンラインによる視聴覚センター・ライブラリーのネットワーク構築に向けた調査研究」（継続）

3. 報告書の概要

- (1) はじめに
- (2) 情報交換会の概要
- (3) 全国大会の概要
- (4) 研修会の概要
- (5) 専門委員会の評価
- (6) まとめ

<報告書掲載アドレス>

<http://www.zenshi.jp/report.html>

▽令和5年度 視聴覚・放送教育の全国大会 1次案内について

今年度の第27視聴覚教育総合全国大会・第74回放送教育研究会全国大会 合同大会は、11月11日（土）にオンラインにより開催されます。

このほど生涯学習部会のセミナー講師および実践発表者が下記のように決まりました。

＜セミナー＞

テーマ 「視聴覚教育関係者が知っておきたい著作権の最新動向」

- ・講師 大和 淳先生（福岡教育大学教育学部 学校教育研究ユニット教授）

＜実践発表＞

テーマ「自作教材のデジタル化」

- ・講師 丸山 裕輔氏（全国視聴覚教育連盟副 専門委員長）

- ・実践発表者2名

- ①仙台市教育局生涯学習部生涯学習課 間宮 智也 氏
- ②交渉中

また同大会の1次案内ができあがり、HP にアップされましたので、下記アドレスより参照いただき、関係先への周知をよろしくお願いいたします。

<https://www.javea.or.jp/soutai/>

大会テーマ 未来社会に向けて 生涯にわたる学びを支えるメディア活用

合同大会

令和5年度

第27回視聴覚教育総合全国大会

第74回放送教育研究会全国大会

オンライン開催

令和5年11月11日（土）

時間も場所も
参加者のスタイルに合わせて
自由自在！

参加費 1000円

参加申し込みは9月ごろ配布予定の
2次案内でご確認ください。

**ワークショップ
セミナー**

スペシャルな講師陣による
最新のネタ・コアなネタを準備！
参加型・聴講型も選択可能！

実践発表

令和5年も全国各地から最新の優れた
実践事例を紹介！明日の授業に使えるネタ満載

主催：
全国放送教育研究会連盟 N H K
視聴覚教育総合全国大会連絡協議会
(日本学校視聴覚教育連盟 全国高等学校メディア教育研究協議会 全国視聴覚教育連盟 一般財団法人日本視聴覚教育協会)

【問い合わせ先】
■全国放送教育研究会連盟事務局 <http://www.zenporen.jp/>
〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1 N H K メディア総局展開センター内
TEL: 03-5455-4310 FAX: 03-3481-1372
■一般財団法人 日本視聴覚教育協会 <https://www.javea.or.jp/>
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11 虎ノ門P F ビル
TEL: 03-3431-2186 FAX: 03-3431-2192

↓大会の最新情報はこちら↓

全放送



<http://www.zenporen.jp/taikai/>

視聴覚協会



<https://www.javea.or.jp/soutai/>

11/11 午前 ワークショップ・セミナー

図	テーマ	図
セミナー1	個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた 放送番組およびICT機器の活用（仮）	國田学園女子大学 堀田 博史
セミナー2	一人一台端末時代だからこそ考えたい、 教材コンテンツのあり方	敬愛大学 阿部 学
セミナー3	視聴覚教育関係者が知っておきたい著作権の最新動向	福岡教育大学 大和 淳
ワークショップ1	放送番組を使ったSDGs教育（仮）	明治大学 岸 磨貴子
ワークショップ2	放送番組を使った特別支援教育・多様性の理解（仮）	名寄市立大学 郡司 竜平
ワークショップ3	情報モラル（仮）	帝京大学 松波 紀幸

11/11 午後 実践発表

図	テーマ	図
実践発表1	情報活用能力育成を目指した番組活用（仮）	日本大学 中橋 雄
実践発表2	番組活用で実現する個別最適な学び・協働的な学び（仮）	茨城大学 小林 祐紀
実践発表3	番組活用で実現する探究的な学び（仮）	鳴門教育大学 泰山 裕
実践発表4	ICT活用（仮）	東京福祉大学 後藤 泰博
実践発表5	プログラミング教育（仮）	文京区教育センター 田中 克昌
実践発表6	自作教材のデジタル化	全国視聴覚教育連盟 丸山 裕輔

5月30日現在の情報です。（変更になる場合がございます）
今後、随時情報を更新してまいります。
大会参加のお申し込みは、2次案内でご案内いたします。

▽全視連「賛助会員」(ライブラリー会員)について

当連盟では、各都道府県指定都市単位で加盟する制度と、各ライブラリー単位や個人が加盟する賛助会員の2つの制度がある。

賛助会員として加盟すると、当連盟の各種サービスを受けることができ、それに加え、視聴覚センター・ライブラリーが保有する16ミリフィルムやビデオ教材を廃棄・移管する場合、「視聴覚教材の廃棄届け」「視聴覚教材の移管届け」を当連盟に提出することで、権利者団体である(公財)映像文化製作者連盟に提出することができる。

賛助会員についての細則は下記の通り。

(目 的) 第1条

この細則は、全国視聴覚教育連盟規約第6章の規定に基づき、必要な事項を定める。

(構成員) 第2条

当連盟の趣旨に賛同し、連盟の活動を援助する個人または団体を賛助会員とする。

(注) 従来の各都道府県単位で加盟する会員の他に、各視聴覚センター・ライブラリーや個人を対象とする会員。

(会 費) 第3条

賛助会員は、年額10,000円の会費を納めるものとする。

(会費納入方法) 第4条

会費は毎年6月中に納入するものとする。

(特 典) 第5条

賛助会員は、次の各号に掲げる特典を得ることができるものとする。

1. 機関誌「視聴覚教育時報」その他本連盟の刊行物の配布を受けることができる。

(注) 視聴覚教育時報、各種調査研究事業報告書、メルマガ、開発DVD教材(HPからのダウンロードを含む)。

2. 機関誌に優先的に広告を掲載できる。

3. 本連盟主催の各種会合等に参加できる。

(注) 視聴覚教育総合全国大会、全国自作視聴覚教材コンクール、各種研究会・研修会(講師派遣事業は除く)。

4. 本連盟の活動について意見を述べることができる。

5. 視聴覚教材の廃棄・移管届け

(注) 視聴覚センター・ライブラリーが保有する16ミリフィルムやビデオ教材を廃棄・移管する場合、「視聴覚教材の廃棄届け」「視聴覚教材の移管届け」を連盟に提出することができる。

全国視聴覚教育連盟 賛助会員 細則

全国視聴覚教育連盟

(目的)

第1条 この細則は、全国視聴覚教育連盟規約第6章の規定に基づき、必要な事項を定める。

(構成員)

第2条 連盟の趣旨に賛同し、連盟の活動を援助する個人または団体を賛助会員とする。

(注) 従来の各都道府県単位で加盟する会員の他に、各視聴覚センター・ライブラリーや個人を対象とする会員。

(会費)

第3条 賛助会員は、年額10,000円の会費を納めるものとする。

(会費納入方法)

第4条 会費は毎年6月中に納入するものとする。

(特典)

第5条 賛助会員は、次の各号に掲げる特典を得ることができるものとする。

1. 機関誌「視聴覚教育時報」その他本連盟の刊行物の配布を受けることができる。

(注) 視聴覚教育時報、各種調査研究事業報告書、メルマガ、開発DVD教材(HPからのダウンロードを含む)。

2. 機関誌に優先的に広告を掲載できる。

3. 本連盟主催の各種会合等に参加できる。

(注) 視聴覚教育総合全国大会、全国自作視聴覚教材コンクール、各種研究会・研修会(講師派遣事業は除く)。

4. 本連盟の活動について意見を述べることができる。

5. 視聴覚教材の廃棄・移管届け

(注) 視聴覚センター・ライブラリーが保有する16ミリフィルムやビデオ教材を廃棄・移管する場合、「視聴覚教材の廃棄届け」「視聴覚教材の移管届け」を連盟に提出することができる。

▽えすけーぷ

4月に視聴覚教育時報の前号が発行されましたが、その少し後の5月10日に国立映画アーカイブのホームページの中に「映画遺産—国立映画アーカイブ映画資料ポータル—」が公開されました。

<https://nfajilmheritage.jp/>

公開されて、早速Webサイトにアクセスしてみました。スタート時点では、歴史的な映画機材181点が掲載されており、撮影機が116点、映写機が65点となっています。

資料を見るための手がかりとしては、ピックアップされた11点が画像付きで表示されて詳細を見ることができる「資料紹介」と、撮影機と映写機に分かれた「資料の種類ごとに見る」、種別詳細、年代、団体・人物から探せる「索引から見る」があり、さらには自分で条件を入力して探す「検索する」があり、様々な視点から探すことができます。

例えば、一番古いものを「年代」から探すと1900年代頃にドイツで製造された35ミリカメラである「エルネマン キノ」が出てきます。

また、シングル8方式の撮影機「フジカシングル8P105」もあり、これを使って高校生3年生の時に作った映画や、大学の学園祭で上映した教育ドキュメント映画（もどきですが）を作ったときのことを思い出しました。

映像文化という視点で考えると、映像に関するアーカイブというものはとても重要で、国の機関としてまとめたアーカイブを持つことはもちろんですが、一つ一つのライブラリーが自分のところの映像機器や映像作品をアーカイブすることも必要なのではないのでしょうか。

近年、毎年のように多くの16ミリフィルムが廃棄されています。映写機などの機材も同じように廃棄されていることが想像されます。保管スペースや人手、予算の問題もあるので簡単な話ではないでしょうが、過去の闇の中に消えるのではなく、アーカイブとして将来に蓄積していくことが期待されます。

さらに、個々のアーカイブは小さくても、それをネットワークでつないで横断的に検索することができるようにすれば、大きなアーカイブになります。

国立映画アーカイブでは今後「映画館プログラム」のアーカイブも検索できるように準備していますし、東京都中央区京橋にある施設では、常設展として「NFAJコレクションでみる日本映画の歴史」を見ることができるようになっています。東京駅からそれほど遠くない場所ですので、是非一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。（T. M）

全国視聴覚教育連盟

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-10-11 虎ノ門 PF ビル

TEL: 03-3431-2186 / Fax: 03-3431-2192

HP: <http://www.zenshi.jp/>

Mail: info@zenshi.jp

東映 教育ソフト Line-up!

社会・道徳・特別活動

自分ごとSDGs

SDGsに取り組んでいる人たちのインタビューを見て、身の回りにある身近なものからSDGsについての考えを深めていきます。SDGsの基礎知識を学ぶだけでなく、SDGsを自分ごととして捉え、行動していくきっかけとなる教材です。



「指導案」「ワークシート」あり

(22分) 72,600円(税込)
学校特別価格 36,300円(税込)

道徳・特別活動

性の多様性とLGBTQ+

～誰もが自分らしく生きるために～

「性のあり方」についての基礎知識をわかりやすく解説しながら、典型的でないと言われる性のあり方の人たちへのインタビューを通して、性には様々な形があることや、性的マイノリティを取り巻く実状についても伝えます。



字幕版付き 解説書あり

監修：一般社団法人fair (28分) 72,600円(税込)
学校特別価格 36,300円(税込)

家庭・保育

「映像で学ぶ 幼児の発達と生活シリーズ」全3巻

第1巻 幼児の心身の発達(24分)

乳幼児の発達がどのような過程で進んでいくのか、体の発達と心の発達、2つの視点で解説します。

第2巻 幼児の生活の特徴と家族の役割(23分)

乳幼児期の子供の生活の特徴と家族の役割について解説します。

第3巻 幼児と遊び(20分)

乳幼児期の子供の姿を見ながら、「遊び」の特徴や意味について解説します。



各巻 72,600円(税込) 3巻セット 198,000円(税込)
学校特別価格 36,300円(税込) 学校特別価格 99,000円(税込)

道徳・特別活動・防犯

「スマホは情報モラルが大切」全2巻

第1巻 ネットいじめをしない! SNSでの出会いに気をつけよう!(25分)

第2巻 もう一度よく考えよう! 写真や動画の投稿(18分)

1巻で「ネットいじめ」「SNSでの出会い」、2巻で「個人情報流出」「炎上」をテーマとして取り上げ、それぞれドラマ編と解説編で構成しています。スマホを使ってSNSを利用するには、情報モラルを身につけ、よく考えた上でメッセージや写真や動画を投稿することが何よりも大切であることを伝えます。

各巻 72,600円(税込) 2巻セット 132,000円(税込)
学校特別価格 36,300円(税込) 学校特別価格 66,000円(税込)



お問い合わせ・チラシ請求は

☎ 03 (3535) 3631 FAX 03 (3535) 3632

予告編
配信中

<https://www.toei.co.jp/edu/>

教育映像

検索



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

●学校向け特別価格もございますので、お気軽にお問い合わせください。

<http://www.toei.co.jp/edu/>